



通信

2022. 10. 31 Vol. 151

公益社団法人 福島原発行動隊

東京都千代田区神田淡路町1-21-7

静和ビル 1階A室 〒101-0063

Tel: 03-3255-5910 Fax: 03-3525-4811

Mail: svcf-admin@svcf.jp Web: http://svcf.jp

第 118 回院内集会

福島原発行動隊は、10月26日「特定復興再生拠点区域」のある福島県自治体の首長を講師にお招きして「明日のわがふるさと」につきお話しいただくシリーズ講演会の一回目を開催しました。

- 日時: 10月26日(水曜)午後1時30分—3時
 - 開催方式: Zoom オンライン講演会
 - テーマ: 明日のわがふるさと
- 2022年6月に特定復興再生拠点区域の避難指示が解除された福島県葛尾村の復興施策目標や復興施策上の課題など、村の現況と未来像
- 講師: 篠木弘/福島県葛尾村村長



後半の質疑応答では松本弘副村長も加わり、受講者からの質問に丁寧に回答されていました。



冒頭に葛尾村篠木弘村長が葛尾村の概況を紹介され、続いて復興推進室復興推進係岩谷一登係長が復興政策の目標、課題等並びに現況と未来像をプレゼンテーション資料(『こころなごむ高原の里 かつらおの復興に向けて』

<http://svcf.jp/wp/wp-content/uploads/2022/10/%E3%80%9020221026katsuraosiryou.pdf>)

を映写しながら説明されました。

川内村体験ツアー顛末記

杉山隆保

「川内村体験ツアー」の計画は昨 2021 年 10 月に出され、「最低催行人員」10 人で準備されていました。ところが「コロナ感染」の拡大で今 2022 年 3 月に延期。その後も度重なる「コロナ感染」の拡大でようやく、10 月 8-9 日に行われました。参加者は 24～5 名になったり、また、減ったりと担当者を悩ませましたが結局 11 名の参加で行われました。



収穫間近のブドウ園を見遡るツアーメンバー

「体験ツアー」の最大の眼目は「かわうちワイナリー」の見学でした。ワイン瓶のラベル張りや瓶のコルクをロウ付けする作業を体験しました。震災後の新しい産業としてのワイン造りの意気込みを統括マネジャーの遠藤一美さんが語ってくれました。

農産物ではLEDを用いた閉鎖型レタス工場やイチゴ工場の見学も行いました。放射線物質から被害を受けないで農産物を造ろうという試み

ですが、ワインも含めて販路を広げることが大きな課題であることを知らされました。



たわわに実るブドウ

この計画の中での課題は「放射線被害克服」に力を注いでいる方々と「福島復興支援事業」を展開している「行動隊」との連携でした。一生懸命に「放射線被害克服」に取り組まれている皆さまの中には「復興支援事業が“足かせ”になっている」と、捉える方がまだ、多く居られるということです。「復興支援事業」を行いながらも絶えず放射線被害に遭われている方を念頭において活動することが求められています。

目的の一つであった会員拡大はお一人が会員になって下さいました。ご紹介ですがこのツアーに同行された明珍美紀さんが記事を『毎日フォーラム』に書きました。

【行動隊 11 月スケジュール】

下記の会議・集会はどなたでもご参加いただけます。

- 院内集会(第二回オンライン講演会「明日のわがふるさと」)
24 木曜日 = 予定
- 『SVCF 通信』
30 水曜日
- 連絡会議
以下の各金曜日 10:30
4、11、18、25

